

令和3年度

宮古市当初予算（案）の概要

岩手県宮古市

令和3年2月

予算編成方針

▶ 災害からの復旧・復興

・東日本大震災、平成28年台風第10号、令和元年台風第19号の

すまいの再建、災害復興

▶ 市債の新規発行を抑制・健全で安定的な財政運営

▶ 総合計画の着実な実施

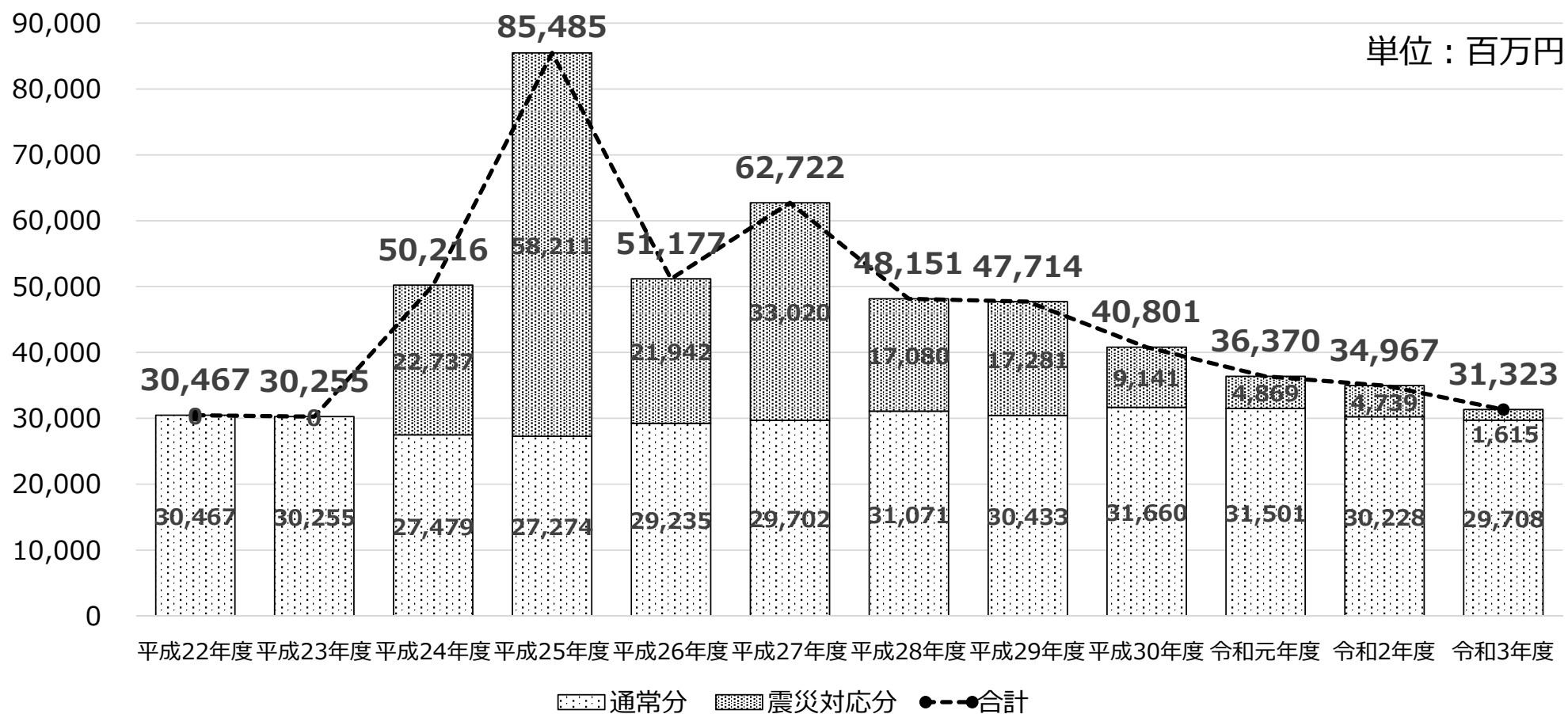
・産業振興、健康・生きがいづくり、子育て支援、教育環境の充実など

当初予算の規模

単位：千円、%

	令和3年度(A)	令和2年度(B)	増減額(A)-(B) (C)	伸び率(C)/(B)
一般会計	31,323,000	34,967,000	△3,644,000	△10.4
うち通常分	29,707,961	30,228,301	△520,340	△1.7
うち震災対応分	1,615,039	4,738,699	△3,123,660	△65.9
特別会計	14,507,378	14,827,645	△320,267	△2.2
公営企業会計	4,989,971	6,300,024	△1,310,053	△20.8
合計	50,820,349	56,094,669	△5,274,320	△9.4

一般会計当初予算の推移



歳入・歳出のポイント

▶ 歳入

市税 53億148万7千円（前年度比 1億8,973万7千円 減）

個人市民税、法人市民税、固定資産税などの減額

地方交付税 103億1,447万2千円（ // 18億6,421万7千円 減）

東日本大震災からの復旧・復興事業の減などによる特別交付税の減額

市債 30億6,120万円（ // 10億900万円 減）

庁舎跡地整備事業、小中学校冷房設備整備事業、第一中学校大規模改修事業などの終了による減額

プライマリーバランス（基礎的財政収支）

償還額 36.7億円 > 発行額 30.6億円 6.1億円の黒字

歳入・歳出のポイント

▶ 歳出

投資的経費 37億6,183万2千円（前年度比 23億746万7千円 減）

令和元年台風第19号道路河川災害復旧事業などが増額となる一方、
庁舎跡地整備事業、小中学校冷房設備整備事業、第一中学校大規模改修事業などが減額

公債費 36億7,224万円（ // 4億327万7千円 増）

中心市街地拠点施設整備事業、防災行政無線整備事業及び、平成28年台風第10号災害復旧事業
に係る市債の償還開始による増額

令和3年度重点事業

▶ 新型コロナウイルス感染症対策

・地域外来・検査センター等の運営 **3,519万6千円**

地域外来・検査センター及び休日急患診療所の運営

▶ 再生可能エネルギーによる地域内経済循環

・再生可能エネルギープロジェクト推進事業 **2億212万4千円**

再生可能エネルギー事業への資本参加、推進計画の策定など、再生可能エネルギー政策の推進を図る

▶ 持続可能な公共交通の構築

・公共交通利用環境整備事業 **3,140万円**

宮古駅の跨線橋バリアフリー化に向けた詳細設計を行う

令和3年度主要事業

▶ 東日本大震災・台風関連

- ・公共土木施設・林業施設災害復旧 9億7,493万6千円
令和元年台風第19号で被災した市道・林道等の災害復旧を行う
- ・被災者、被災事業者への支援 1億2,061万円
すまいの再建促進事業補助、定住促進住宅建築利子補給補助、被災中小企業対策資金利子等補助など
(東日本大震災分 7,800万円、平成28年台風第10号分 960万円、令和元年台風第19号分 3,301万円)
- ・集団移転跡地の活用 1,824万2千円
防災集団移転促進事業により取得した土地の利活用を図る
- ・庁舎跡地公園のオープニングイベント 417万8千円
8月共用開始予定のインクルーシブ遊具を備えた多目的公園の魅力と機能を広く情報発信する

令和3年度主要事業

▶ 産業振興

・閉伊川流域振興・区界高原観光資源活用事業 **250万円**

自然豊かな閉伊川流域の潜在的な観光資源調査及び活用計画案を策定

区界高原の魅力を発信し集客力を高め、交流人口の増加を図るモデル事業を実施

・野生鳥獣肉処理加工等検討事業 **100万円**

ジビエの可能性や施設の在り方等を調査研究する

・漁業担い手確保対策事業 **1,741万9千円**

漁業の担い手確保対策に係る各種事業を実施

宮古水産高等学校への市外からの学生受け入れのため、下宿への補助を新設

令和3年度主要事業

▶ 子育て支援の推進

- ・子どもの医療費給付 1億1,400万円
乳幼児から高校生まで、子どもの医療費を給付
市内は高校生まで現物給付を拡大
- ・国民健康保険税の子どもの均等割減免 1,382万4千円
子どもの均等割減免の実施により、子育て世帯を経済的に支援
- ・副食費給付事業 2,613万6千円
無償化に伴い実費徴収することになった私立認定こども園等の入所児童の副食費を給付
※公立保育所は副食費の徴収を免除、免除相当額1,198万8千円
- ・子ども・子育て幸せ基金事業 1,611万円
こども食堂、親の自立支援、民間保育士支援、在宅子育て支援など

令和3年度主要事業

▶ 健康・生きがいつくりの推進

・障害児障害者一体施設整備事業 **3億2,992万5千円**

社会福祉法人若竹会が整備予定の施設の整備費の一部を補助する

・母子保健事業 **6,662万7千円**

安心して子どもを産み育て、子ども達が健やかに成長できるよう思春期・妊娠・出産・乳幼児期に至るまで一貫した体系での各種事業を実施

・妊産婦への医療費給付 **2,100万円**

妊産婦への医療費を給付、医療費に係る自己負担額への助成を行う

・がん患者医療用補正具購入費用助成事業 **95万円**

がん治療に伴う外見変化により医療用補正具を使用するがん患者に対して、その購入費用の一部を助成する

令和3年度主要事業

▶ 教育環境の整備

- ・小中学校のトイレ洋式化事業 870万円

小中学校のトイレの洋式化を図り、衛生環境の改善を図る

実施設計：宮古小学校、山口小学校、新里小学校、川井小学校

宮古西中学校、崎山中学校、田老第一中学校、新里中学校

- ・小学校校舎改修事業 3,200万円

宮古小学校マルチホール上部屋根改修工事、山口小学校大規模改修実施設計

- ・学力向上事業 1,416万9千円

学力検査等の実施、放課後学習支援員3名、放課後学習支援補助員14名の配置

令和3年度主要事業

▶ 生活環境と道路交通網の整備

- ・市道改良事業 4億215万円
前須賀日立浜線（R3完了予定）、崎山松月線、近内岩船線ほか6路線
- ・携帯電話不感地域解消事業 3,658万8千円
長沢地区の携帯電話不感地域に移動通信用基地局を整備する

▶ その他

- ・消防団活動用備品整備事業 740万円
自動体外式除細動器（AED）28台整備
- ・総合防災ハザードマップ作成事業 4,000万円
津波及び洪水土砂災害に対応したハザードマップを作成する

遊覧船事業の再開に向けた取り組み

▶ 遊覧船事業

- ・令和3年1月11日、58年の歴史に幕を閉じた
- ・令和4年度から新たな船出を目指す
- ・事業にあたっては

建造費用 2億2,000万円※、維持管理経費 4,320万円/年

※船の建造費用は令和3年度、4年度の2カ年で予算化。令和3年度は予算額は1億1,000万円

- ・新たな遊覧船をいつまでも守りたい

▶ ふるさと納税により広く寄附を募る

- ・ふるさと納税の活用テーマに「**遊覧船の存続**」を追加
- ・企業版ふるさと納税も活用し、法人からの寄附も募る